

【CL名】野口さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年 9月30日 【作成時間】56分

設問

【問い1】今ならどのような質問ができるか。

- 1) 交渉や駆け引きが「意外と」楽しかったというのはどういうことでしょうか。
- 2) 「つなぎみたいな仕事」というのはどういうことでしょうか。
- 3) 「私じゃなくてもいい」と思われている仕事をされてご自身振り返ってどうですか？
- 4) 引継ぎ後の話しについてもう少しお伺いできますか？
- 5) 「上司本人にはもちろん言えない」というのはどうしてそう思われるのですか？
- 6) 引継ぎ後に後輩に対してはどのように思っていましたか？

【問い2】良かった点と悪かった点 (各2行)

事例IのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 理不尽であるという感情に焦点を当て傾聴したこと、有休前の仕事は好きだったエピソードや上司との関係性についてお伺いすることができた点。

事例IIのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 感情に焦点を当て時間を費やしたことで、引継いだ後輩の話しを十分に伺うことができなかった。また、有休前後の違いについて深掘りできたお点。

【問い3】クライアントの主訴

冒頭では、有休復帰後の上司からの説明と現在の仕事内容と違うことは理不尽と感じ、「つまらない」「謝らなくて怒り場だ」ということから、お話しを伺った上司とのコミュニケーションが十分でなく、現在の会社状況や職場環境の理解が不足し、好きだった有休前の仕事に拘りがある様子が伺えた。このことより、上司とのコミュニケーション不足に於て現時点での主訴と考えらる。

【問い4】今後の展開 (どのように進めるか)

聴くことができた引継いだ後輩に焦点を当てることで、仕事に対する価値観や感情を傾聴することによって信頼関係を築いていく。それによって、現在の会社状況や職場環境について質問し、相談者の感情を整理するお手伝いを行う。同意が得られれば、上司に対して現状を把握するためのおまび今後の仕事内容についてコミュニケーションを取る機会を提案していく。そのことで、相談者にとって最良の働き方ができるための支援していく。